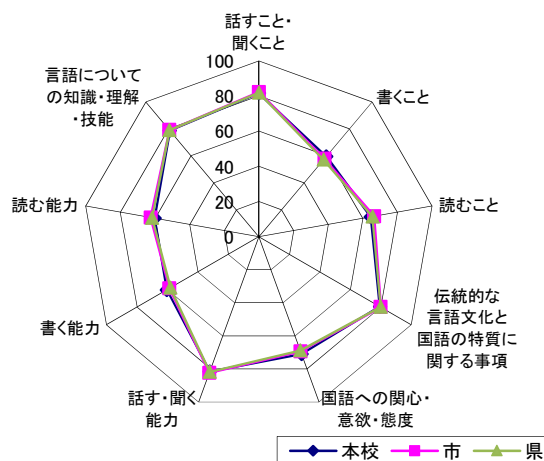


宇都宮市立豊郷中学校 第2学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	81.6	82.3	81.8
	書くこと	59.5	58.0	57.2
	読むこと	64.6	66.6	65.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	79.4	80.0	79.9
観点	国語への関心・意欲・態度	70.9	69.4	68.8
	話す・聞く能力	81.6	82.3	81.8
	書く能力	60.4	58.8	58.1
	読む能力	60.2	62.5	61.7
	言語についての知識・理解・技能	78.9	79.2	79.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○「相手の発言を注意して聞いて、自分の考えをまとめる」問題では、県の平均を4.3ポイント上回っている。 ●平均正答率は81.6%と県の平均を0.2ポイント下回っている。「話の内容を正確に聞き取る」問題では3.9ポイント下回っている。	・授業の中で話し手の工夫や意図を理解しようとしながら聞き取る活動を取り入れる。 ・学習活動に話し合い活動や意見発表の場を取り入れ、相手に分かりやすく伝える工夫について考える機会を増やしていく。
書くこと	○平均正答率は59.5%と県の平均を2.3ポイント上回っている。「読み取った内容を明確にして書く」問題では、7.0ポイントと大きく上回っている。 ●「伝えたい事実や事柄について自分の考えを明確に書く」問題では、県の平均を4.4ポイント下回っており、無答率が40%を超えていた。	・記述式の問題にあきらめずに取り組む姿勢を身に付けさせる。 ・自分の考えや思いを、授業だけでなく日常生活においても文章で書き表す指導をしていく。また、教科の垣根を越えて、他教科や道徳、総合などの時間でも自分の考えを文章で表現する学習活動を積極的に取り入れる。
読むこと	○「文章の展開をとらえて、その内容を整理する」問題では、県の平均を4.9ポイント上回っている。 ●平均正答率は64.6%と県の平均を1ポイント下回っている。「説明文の内容を読み取る」問題は0.1ポイント上回っているが、「文学作品の内容を読み取る」問題は、1.6ポイント下回っている。	・接続語や表現などを手掛かりに文章構成を捉えるなど、読解における技術的な内容も指導していく。 ・文章を基に、登場人物の心情や人物像、筆者の考えを読み取ることを不得意としている生徒が多いため、授業等を通して重点的に指導していく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○「単語について理解している」問題では、県平均より0.8ポイント上回っている。また、「小学校で学習した漢字を書く」問題はほとんど県平均を上回っている。 ●平均正答率は79.4%と県の平均を0.5ポイント下回っている。「文法・語句に関する知識」が県平均よりも0.8ポイント下回っている。	・既習した漢字の読み書きは、授業で小テストを取り入れて、継続的に取り組んでいく。 ・文法事項の理解や確認を、授業中に機会をとらえながら繰り返し取り組んでいく。